

福岡県西方沖地震による福岡・佐賀で震度6弱（第4報）

平成17年3月20日 20:30 現在

1.概 要

福岡県西方沖で地震が発生し、福岡・佐賀で震度6弱。

玄界島で被害が出ている模様で、現地調査のため、整備局職員および災害対策車等を派遣。現地で、合同会議に出席し、今後の対応を検討中。

2.玄界島への応援状況

家屋の応急危険度判定、斜面判定。

15:45 玄界島派遣（整備局より出動。福岡空港より「はるかぜ」にて移動予定。）

・整備局3名、福岡県の応急危険度判定士を2名派遣。

17:50 現地調査団（整備局8名）が、整備局保有の船舶（なじま）にて玄海島に到着。

18:00 第一回現地合同会議開催（福岡市、福岡県警、福岡市消防局、自衛隊、海上保安庁、福岡市水道局、福岡県、九州地方整備局）

19:26 情報収集と福岡市からの要請により被災現場の復旧支援を行うため、整備局保有の対策本部車、待機支援車、照明車（2台）、衛星通信車、衛星小型画像伝送装置を玄海島へ博多港須崎埠頭を出航。（別紙、参照）

20:00 第二回現地合同会議開催予定

3.河 川 1次点検終了、異常なし。引き続き2次点検実施中。

4.海 岸 点検終了。異常なし（有明海岸）

5.砂 防 点検終了。異常なし（雲仙、川辺川ダム）

6.ダ ム 1次点検終了。引き続き2次点検実施中。

厳木ダム湖周辺の遊歩道にクラック30m（ダム本体には影響なし）

7.道 路 1次点検終了。大きな被害なし。引き続き2次点検実施中（構造物等の詳細点検）

13:20 高速道路の九州管内前線通行止め解除

14:30 北九州高速道路 通行止め解除

※福岡高速道路は通行止め

〈県道情報〉

県道502号 玄界田島福間線（福津市津屋崎）ひび割れによる全面通行止め 14:15～

県道54号 福岡志摩前原（志摩町大口）ひび割れによる片側通行止め 14:30～

2.港 湾 点検中（博多港、唐津港、長崎港）。博多港の（中央埠頭、須崎埠頭、箱崎埠頭等）岸壁に段差亀裂（一部の施設においては、利用不可）。
その他施設については、点検後、異常なし。

9.公 園

- ・海の中道海浜公園：全面閉園。「光と風の広場」の園路被害（液状化）、かも池護岸被害、ホテル海の中道・海の家で多数のクラック、パークウェイ（法枠損傷）。ライフライン状況確認中。21日休園予定。
- ・吉野ヶ里歴史公園：通常開園。点検後、異常なし。

10.その他

本部体制	注 意	警 戒	非 常	
発令時刻			11:10	

（事務所体制 非常体制： 5 事務所
警戒体制： 4 事務所
注意体制： 9 事務所）

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部

企画部 企画課 奥田 秀樹

電 話：（092）471－6331 （内線：2741）

FAX：（092）476－3462

対策本部車（長さ 7.990 m×幅 2.490 m×高さ 3.640 m、重量 7.94t） 1 台

- ・ 応急対策の指揮を行うための現地での対策本部基地となる。

待機支援車（6.990 × 2.060 × 2.870、5.99t） 1 台

- ・ 現地に派遣した支援人員などの後方支援機能を有する機械。

照明車 20 m級（6.580 × 2.080 × 3.280、7.81t） 1 台、12 m級（7.170 × 2.300 × 3.390、7.60t）
1 台 計 2 台

- ・ 被災現場での、より迅速な情報収集と復旧活動を明るい視界で支援する。

衛星通信車（5.070 × 1.380 × 2.650、3.25t） 1 台

- ・ 災害現場と対策本部の通信を確保し現場映像等を伝送する機能を有す機械

衛星小型画像伝送装置（全幅 1.100 ×直径 0.915 ×全高 1.680 m） 1 台

- ・ 災害現場に手早く運搬、設置し、通信衛星を通して映像や音声を送る。

対策本部車(拡幅型)

災害現場の『現地対策本部』— 災害対策活動の情報コントロールタワー —

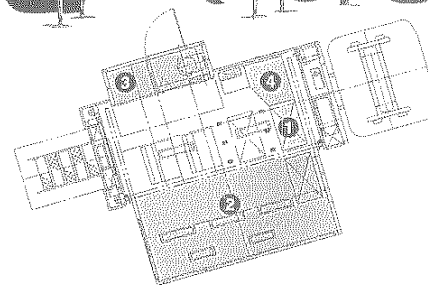
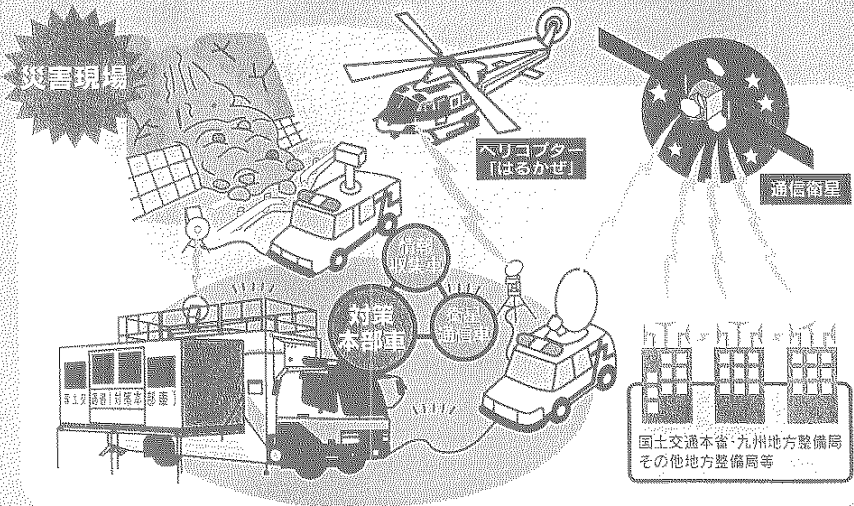
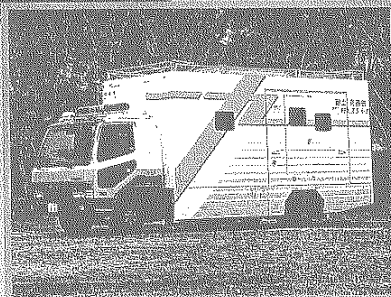


災害現場に速やかに出動し、情報収集、応急対策の指揮や工法の検討、広報活動を行う現地の本部基地となる。また、通信機器を駆使し、災害対策活動の司令塔としての威力を発揮します。

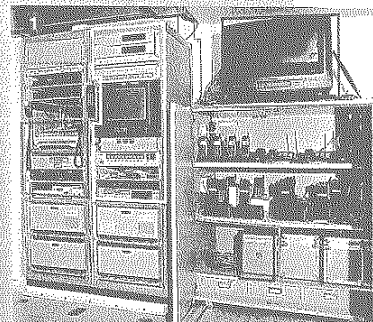
3台の絶妙のコンビネーションで情報支援活動



対策本部車 衛星通信車 情報収集車



図設備



無線装置・移動体通信設備

●多帯無線装置 (2台)
マイク内蔵で、電話・FAXが可能。
●防災画像伝送装置 (1台)
FAX (1台)
●静止画像伝送装置 (1台)
●超短波無線電話装置
車載型60・150MHz (各2台)
携帯型60MHz (2台)
150MHz (5台)
●移動体通信設備 (K-COSMOS)
マイク内蔵 (4台)
車載型 (2台) 携帯型 (5台)
●衛星携帯電話
車載型 (1台) 携帯型 (3台)

防災画像伝送装置 (1台)

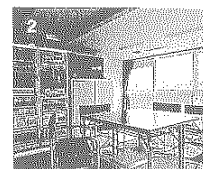
衛星アークおよび「ひまわり」のデータ受信、写真伝送、ビデオ録画、外部入力映像等のモニターも可能。

写真伝送装置 (1台)

被災現場などの写真を、マイク内蔵で同時に伝送。

テレビ・ビデオカメラ (各1台)

UHF・VHF・B5放送受信で、同時録画も可能。ハンディカメラによる被災現場でのビデオ撮影が可能。



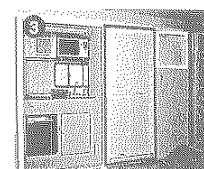
打ち合わせルーム

総面積は、約10畳のゆとりある室内スペースで、打ち合わせテーブルが配置できます。



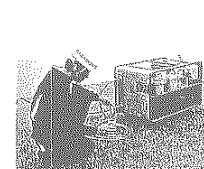
収納室

イス・テーブル・各種機材を収納。



トイレ

シャワー付トイレ・冷蔵庫・ガスコンロ・電子レンジなど充実した厨房と電気気配を整ったトイレを装備。



湧水機

河川水から飲料水をろ過し出すもので、いつでも清潔で安全な水を確保。1時間に1000ℓの水を送ることが可能です。

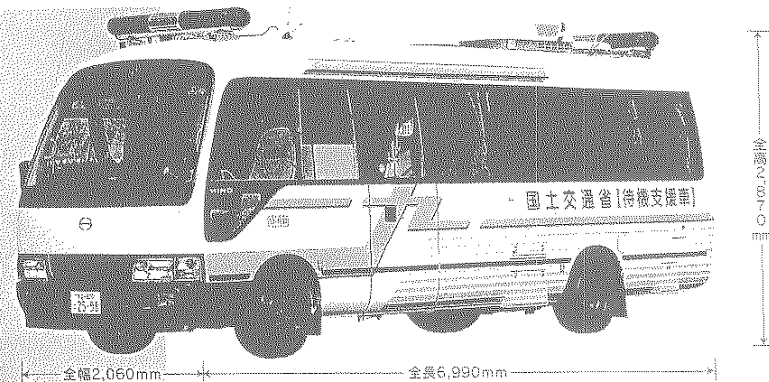
トイレ
空気清浄機

待機支援車(バス型)

大規模な災害対応や長期的な復旧活動を支援するために、休憩、仮眠などができる設備を備えています。



●4人掛け椅子が2段ベッドに



▼GPSを装備



▼乾燥室

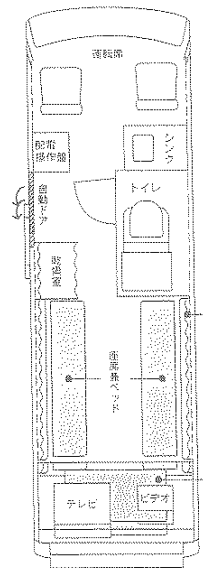


▼運転席



配電操作盤▶

▼トイレ



▼発動発電機



リフトを使って発動発電機をおろします。



■主要諸元

- 【外寸】(全長×全幅×全高)6,990×2,060×2,870mm
- 【車両重量】5,550kg
- 【車両総重量】5,990kg
- 【駆動方式】4WD
- 【最小回転半径】6.4m
- 【最低地上高】190mm
- 【乗車人数】8名(前部2名、後部6名)
- 【燃料タンク】全エンジン用・軽油100ℓ、発電用・軽油100ℓ

■装備品

- 【設備標準寸法】1.1m×3m(発動機用時)、8m×3m(発電機用時)

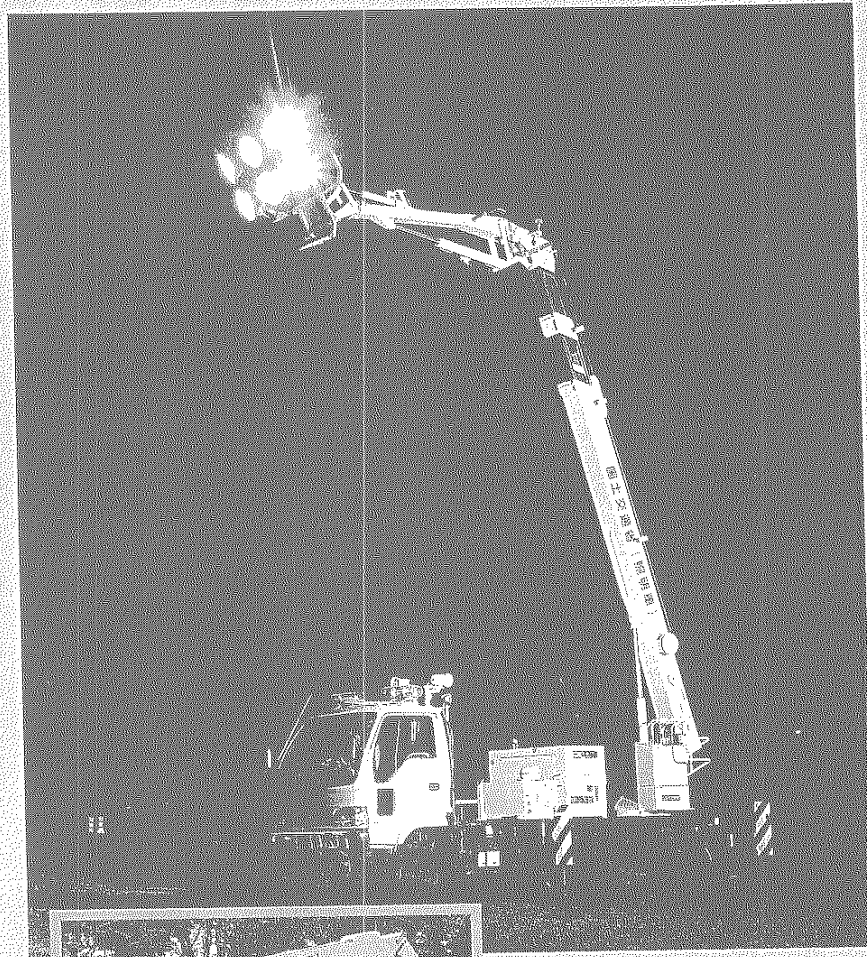
- 【通信設備】コードレス電話2台(遠隔を外部より引き込む必要あり)
- 【情報処理設備】カラーテレビ、ビデオデッキ(15コーナー内蔵)
- 【トイレ】小形電気トイレ、パッチ方式(サブタンク一時的開閉式)
- 【ベッド】前部後部2段ベッド 2台(収容定員4名)
- 【冷暖房設備】湯水ヒータ式DC24V
- 【厨房設備】シンク台、汚水タンク(50ℓ)、冷蔵庫(50ℓ)
- 【発動発電機】定格出力・定格100V・60Hz・3KVA
- 【その他】エアコン、机類

■その他

- 【搭載価格】前部後部制一統価格

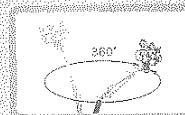
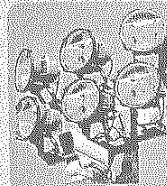
照明車 (20m級・25KVA)

夜間や豪雨など視界の悪い中で行う災害復旧活動をアシスト!!

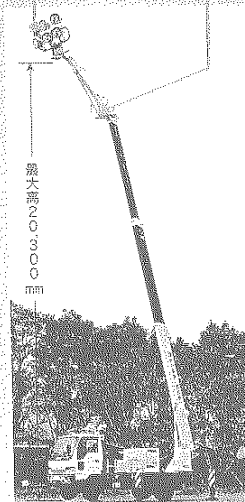


20mまで伸びるboom。
自在な旋回、俯仰。
メタルハライドランプ6灯で
明るい視界を確保します。

600m先でも、
50ルクスの明るさ!!



俯仰角度: 360°
上向き角度: 10°
下向き角度: 140°



主要諸元

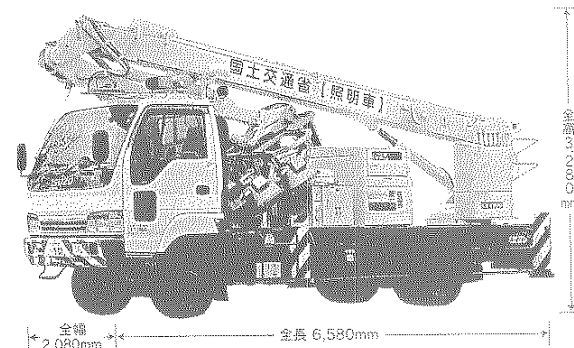
- [サイズ (全長×全高×全幅)] 6,580×2,080×3,280mm
- [車両重量] 7,700kg
- [車両総重量] 7,810kg
- [駆動方式] 4WD
- [最小旋回半径] 7.0m
- [最低地上高] 185mm
- [乗車人数] 2名
- [燃料タンク] 軽油 100ℓ
- [油圧ポンプ駆動力取付装置] 変速機サイドPTO

装備品

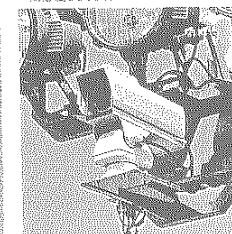
- [発動機搭載] 超軽燃料・排出ガス対策兼ディーゼルエンジン
25KVA 20KW 220V-65.6A
- [照明灯] 20W×6灯 (メタルハライドランプ)
- [制限灯地上高] 3.8m~20.3m (吊り上げ6灯中心)
- [制限灯最大作業半径] 10.1m
- [俯仰角度] 10°~140° (対折曲げboom)
- [旋回範囲] 360° (旋回)
- [電圧計] 充電表示 (電圧10mV以上)
- [燃料体温度計] (K-COSMO5) 1台

その他

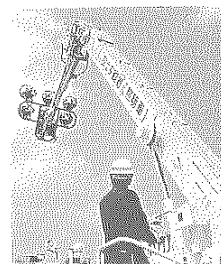
- [型式証明] 普通自動車一種免許・特設式ブレーン運転免許



高感度SCCDカメラ

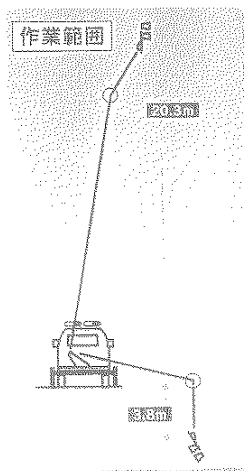


被災現場の現況や復旧活動の
状況などを撮影します。



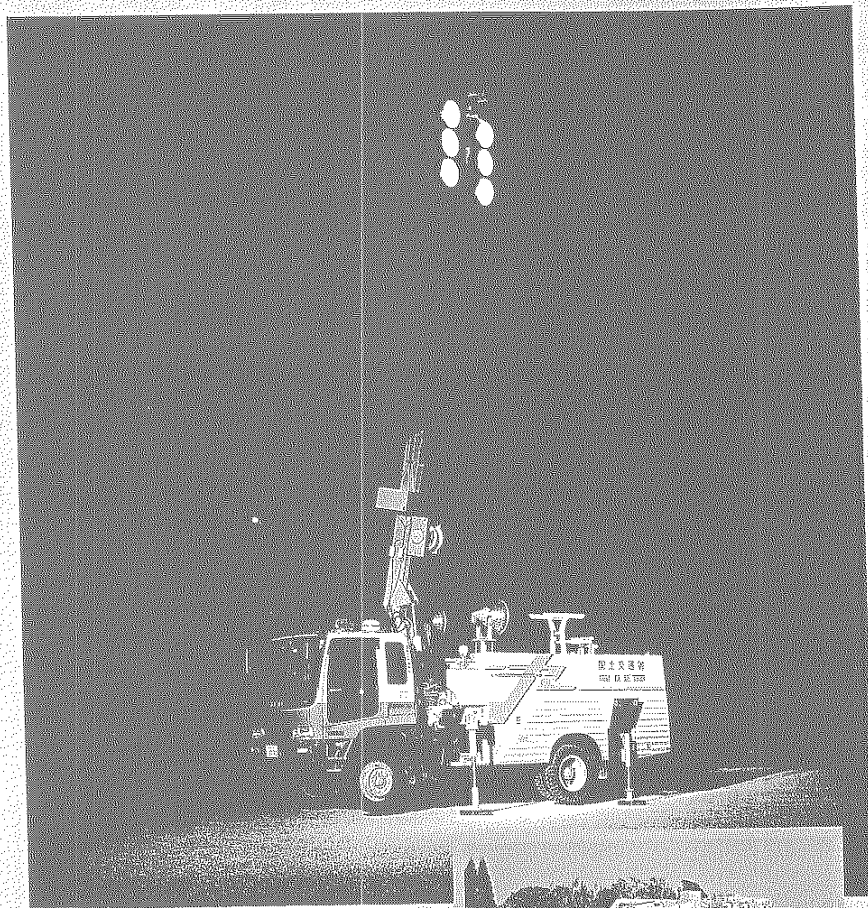
自動膨出・自動縮込装置により、気を
うづめる操作が楽になり、オペレータの
負担が軽減されました。

伸縮も旋回も角度調整もできる
boomで照明箇所は自由自在。

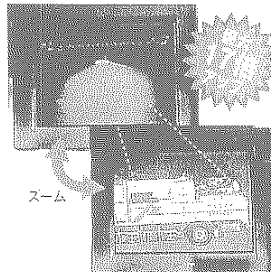
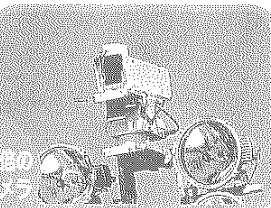


照明車 (12m級・25KVA)

被災現場での、より迅速な情報収集と復旧活動を
明るい視界でバックアップします。



カメラで捉えた映像をモニタ
することができます。災
害現場へ迅速・確実に出動
するナビゲーションにもな
ります。



■主要諸元

- [外寸] (全長×全幅×全高) 7,170×2,300×3,390mm
- [重量車重] 7,490kg
- [車両総重量] 7,500kg
- [駆動方式] 4WD
- [最小回転半径] 7.1m
- [掛吊り上高] 19.5m
- [乗車人数] 2名
- [燃料タンク] 軽油100ℓ

■装備品

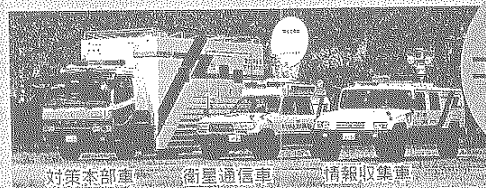
- [発電機容量] 外装型・25KVA (220V・60Hz・100W・10A)
- [照明灯] 主灯 2KW×6灯 + 補助灯 1KW×2灯
- [照射灯地上高] 6~12m ●[照射灯角度] -5° ~ +90°
- [監視器] 後方より左右180° ●[カメラ] 1台
- [移動体通信設備] DC-COSMOS 1台

■その他

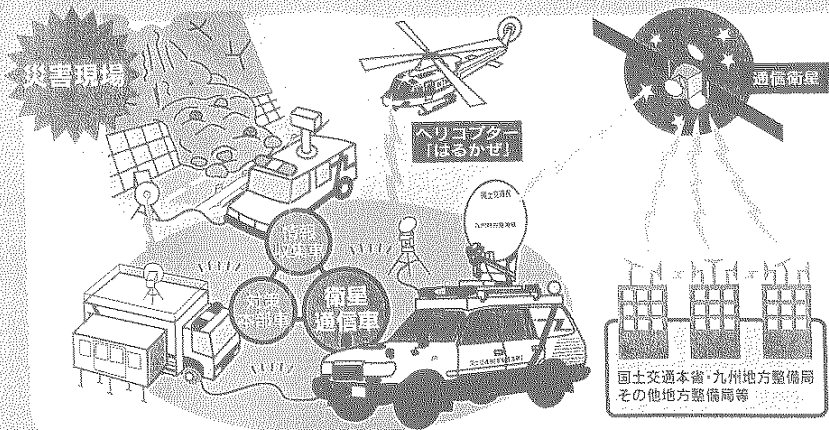
- [所要資格] 普通自動車・特殊自動車・運転免許

衛星通信車 (小型車)

狭い道でも通れる小型4WDタイプ。通信衛星を利用し、より速くより多くの情報を伝送します。



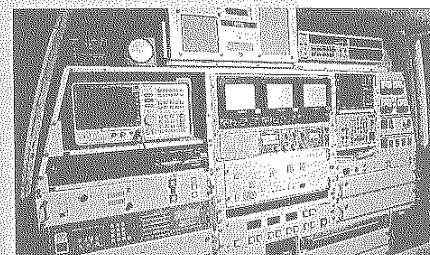
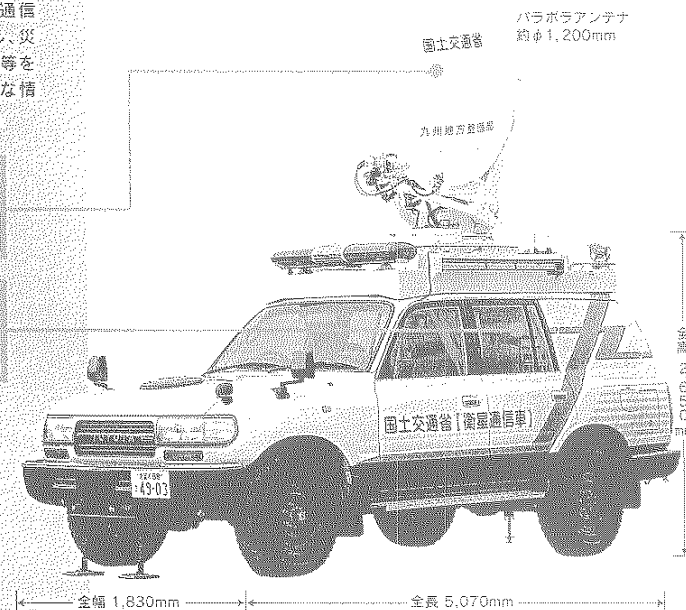
3台の絶妙の
コンビネーションで
情報支援活動



災害による悪条件下でも、信頼性、広域性の高い衛星通信システムで通信を確保し、災害現場と九州地方整備局等を結び、スピーディで的確な情報交換をサポートします。

衛星通信回線だから
どこからでも
ダイレクトにアクセス

高速データ回線で、
現場映像を瞬時に
送受信



■主要諸元

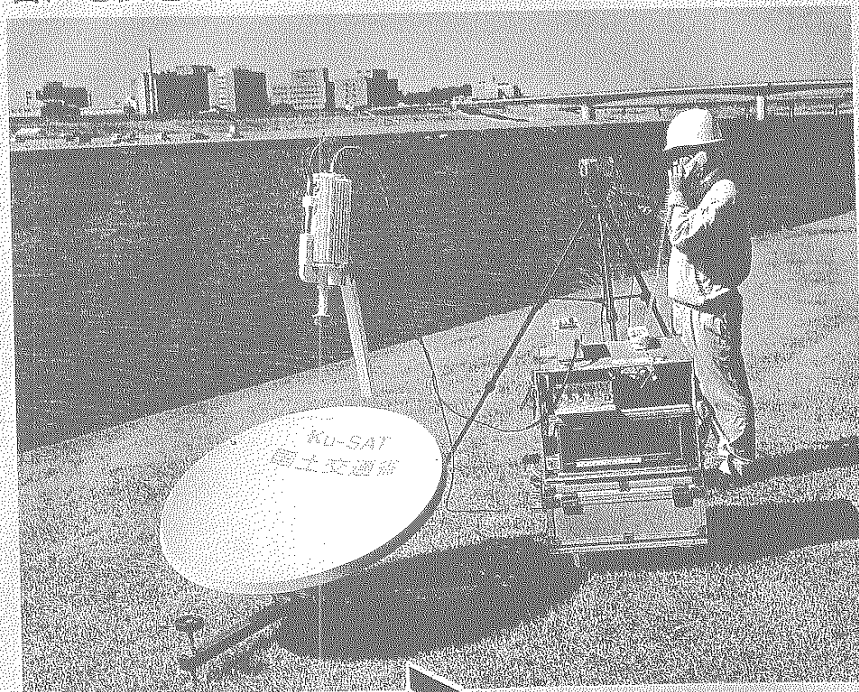
- [外寸] (全長×全幅×全高) 5,070×1,830×2,650mm
- [車両重量] 3,520kg
- [車両総重量] 3,865kg
- [駆動方式] 4WD
- [乗車人数] 3名
- [燃料タンク] ガソリン95ℓ

■備品

- [アンテナ装置] オフセットパラボラアンテナ 約φ1,200mm 電動
- [受信装置] <受信> 14GHz帯 39.6W (周波1CH 送受6CH)
<送信> 12GHz帯 (周波1CH 送受6CH)
- [衛星通信機] 送受信 音声6CH
- [衛星通信機] 送受信 1CH 1.5Mbps/8.3Mbps伝送
- [電源装置] PTO発電機 定格100V 5KVA
- [映像装置] モニターテレビ×3、VTR、テレビカメラ、接続ケーブル、他
- [移動体通信機] K-COSMOS 1台
- [衛星携帯電話] 車載式1台

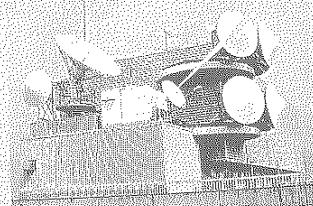
衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)

災害現場に手早く運搬、設置し、通信衛星を通して映像や音声を送ります。

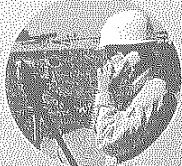


通信衛星

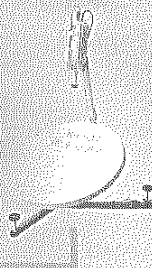
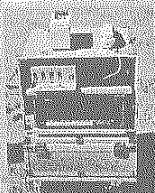
九州地方整備局に設置されている Ku-SAT固定局



ビデオカメラで撮影



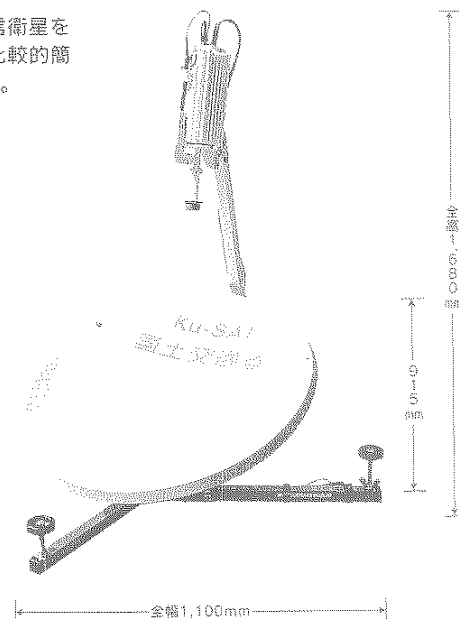
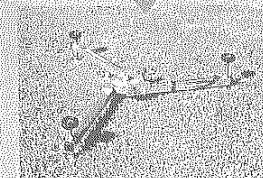
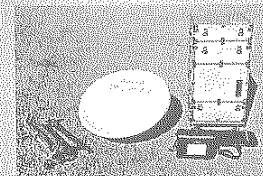
画像符号化装置(コーデック) 変復調装置(IDU)



災害現場の状況をビデオカメラで撮影し、通信衛星を利用し、対策本部等へ伝送します。組立式で、比較的簡単に(2人程度でも可能)搬送・設置ができます。



車にもコンパクトに積み込める。



■主要諸元

- [空中取装置・送受信機(IDU)] W1,100×D615×H1,000mm程度
- [変復調装置(IDU)] W445×D457×H180mm
- [画像符号化装置(コーデック)] W210×D350×H100mm
- [映像品]
- [空中線装置] 0.9mφ
- [送受信機] 2W
- [変復調装置] 映像1CH 音声1CH

- [画像符号化装置] 54Kbps
- [解調回路] 1st
- [カメラ装置] テンタルS-VEIS-C
- [カメラ電源ケーブル] 30m巻
- [送受信機] 2W内式
- [電源装置] 携帯型
- [電源ケーブル] 3P 30m巻